

# ぐるり30

～自治調査会だより～

2023

2

NO. 113

[発行日]  
2023.2.1



東京都指定文化財「日本田家住宅」開館を目指して、現在、解体調査を実施しています。

【写真提供】 国立市教育委員会 【撮影場所】 日本田家住宅主屋解体現場

- ▶ オール東京62市区町村共同事業  
みどり東京・温暖化防止プロジェクト  
市町村の取組紹介 ..... 2  
八王子市 地球温暖化防止普及啓発イベント  
立川市 生物多様性推進事業  
瑞穂町 公共施設等の緑化運動(花植え)
- ▶ Spot News ! ..... 3  
立川に体験型英語学習施設  
TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS がオープン!
- ▶ わたげ探偵!! こんな調べてみました! ..... 4  
～多摩地域に伝わるものづくり～
- ▶ 多摩交流センターだより  
・第30回TAMAとことん討論会 ..... 6  
・TAMA市民塾 日曜講座のお知らせ ..... 7  
・会議室利用登録団体へのお知らせ ..... 7
- ▶ 多摩・島しょ にとっておき歴史発見 ～国立市～... 8

Contents

2月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会



オール東京62市区町村共同事業

# みどり東京・温暖化防止プロジェクト

## 市町村の取組紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護と地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。多摩・島しょ地域の市町村で本助成を活用して実施された取組を紹介します。



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

### 1 八王子市 地球温暖化防止普及啓発イベント

八王子市では、市民と事業者に地球温暖化防止の意識を高めてもらうため、毎年12月に地球温暖化防止普及啓発イベントを開催しています。

2022年度は、市内の公園や公共施設等での講座やイベントと、地球温暖化防止につながる活動をしている店舗などをめぐるスタンプラリーを実施しました。講座では、地球温暖化について学ぶだけでなく、みどりのカーテンで育てたゴーヤのつるを再利用したウィンターリースづくりのワークショップなど、子どもから大人まで地球にやさしい行動を楽しみながら体験する機会となりました。

**【問合せ先】 八王子市 環境政策課 TEL 042-620-7384**



▲イベントMAP (スタンプラリー)

### 2 立川市 生物多様性推進事業

立川市では、立川いきものデータベースを作成しています。昆虫、野鳥、野草、魚貝類、両生・爬虫類、哺乳類(野生)の写真を市民や来街者に投稿してもらい、種類を特定してウェブ上に公開しています。これは、自然にふれあう機会や生き物に興味・関心をもってもらうきっかけ作りとなります。継続することで、観測される生き物の種類に変化が現れるかの確認にもつながります。

2022年9月末で8,812件のデータが掲載されています。今後もデータベースが充実するように努めていきます。

**【問合せ先】 立川市 環境対策課 TEL 042-523-2111**



### 3 瑞穂町 公共施設等の緑化運動(花植え)

瑞穂町では、毎年春と秋の年2回、町内会や小学校の児童たちに協力していただき「公共施設等の緑化運動(花植え)」を実施しています。今年度も地域の大勢の方々に、春はベゴニア、ポチュラカ、日々草、秋はパンジー、ビオラを植えていただきました。

地元町内会や子どもたちの「町を花で美しくしよう」という気持ちが、一年を通して、公園や道路等を美しく彩っています。また、花を植えてきれいに彩ることで、ゴミのポイ捨てなどを抑制する効果も期待しています。

**【問合せ先】 瑞穂町 建設課 TEL 042-557-7659**



Spot  
News!

児童・生徒等が、英語で積極的にコミュニケーションを取ったり、豊かな国際感覚を身につけたりすることを目的に、東京都が民間事業者とともに区部に開設した東京都英語村 TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG) が、多摩地域にもオープンしました。

今後は、多摩地域の特色を生かしたプログラムも予定されており、地域に根差した学習施設として期待される TGG について、取締役 COO の長尾さんに紹介していただきます。



## 立川に体験型英語学習施設 TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS がオープン!



### TGGとは?

TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG) は、革新的な体験型英語学習施設として、2018年9月、江東区に、そして2023年1月、立川市にオープンしました。

TGG は、未来のグローバル人材育成の一助となるべく、コミュニケーションツールとしての英語を通じ、世界中の多様な人々とつながる「わくわく」する体験を創造しています。そして、多摩地域の児童・生徒等、多くの皆様に、英語で「伝わる」感動、「わかる」感動、「協働する」感動を提供しています。

## TGG GREEN SPRINGSで充実した英語体験を!

### 環境：デジタル技術とリアルを組み合わせた施設

JR立川駅から徒歩8分、国営昭和記念公園に隣接する水と緑豊かな複合施設「GREEN SPRINGS」内にあります。

館内デザインは最新のデジタル技術とリアルに作り込まれた造形により、遠い外国にいるかのような雰囲気味わえ、児童・生徒の英語の発話意欲をかきたてます。



▲エントランス



▲機内を模した  
擬似空間



▲ホテルシーンでの体験

### プログラム：英語を話したくなる仕掛けが満載

外国を模した擬似空間で日常英会話にチャレンジする「アトラクションシーン」と、さまざまなテーマについて英語で学ぶ「アクティブイマージョンシーン」の2つのシーンから構成されています。

最初はなかなか話せなくても、気がつくと自然に発話ができるように工夫されています。



▲ESとのやり取り

※写真はすべてイメージ

### イングリッシュスピーカー：世界各国から精鋭が集結!

高度なトレーニングを積んだ外国人講師（イングリッシュスピーカー＝ES）を揃えています。ESは児童・生徒8名につき1名配置され、個々の英語レベルに合わせて、無理なくかつ最大限に英語の発話を引き出していきます。

世界中から来日した多様な文化と価値観を持つESとの交流は、英語体験のみならず、児童・生徒の視野を広げ、多摩地域からグローバル社会に羽ばたくきっかけになると考えます。

〒190-0014 東京都立川市緑町3番1

TEL 0120-86596-1 (受付時間/月～金 9:00～17:00 (土日祝・年末年始除く))

ホームページ <https://tokyo-global-gateway.com/g/>



▲ホームページ



# わたげ探偵!!こんなの調べてみました!

～ 多摩地域に伝わるものづくり ～

◎不定期掲載

今回は、多摩地域に古くから伝わるものづくりについて調べてみたよ。「地酒の蔵元」や、経済産業大臣の指定を受けた「伝統工芸品」など時代を超えて受け継がれているものをいろいろ見つけたよ。



## 日本酒



現在、東京都には9つの蔵元があり、そのうち8つが多摩地域にあるんだよ。江戸時代から続く蔵元も多く、最も歴史のある蔵元は1596年創業(豊島屋酒造(株))なんだって。

蔵見学(要予約)が出来る所も多いので、ぜひ訪ねてみてね。



野崎酒造(株)「喜正」



小澤酒造(株)「澤乃井」



## 多摩織

かつて「桑の都」と呼ばれた八王子では古くから様々な絹織物が織られてきたんだよ。多摩織というのは、お召織、お召織、お召織、お召織、お召織の5つの織物の総称なんだ。

和装製品だけでなく、ネクタイ・ストールなどの洋装製品も作られているよ。



中村酒造「千代鶴」



田村酒造場「嘉泉」



石川酒造(株)「多満自慢」



むらやまおしまつむぎ  
**村山大島紬**

精巧な<sup>かすりもよう</sup>縞模様が特徴の<sup>かすりいと たていと よこいと</sup>細織だよ。全て手作業で作られていて、先染めした<sup>かすりいと たていと よこいと</sup>縞系（経系、緯系）を一本一本柄を合わせながら織っているんだって。  
縞系の染色に「板締め注入染色法」という独特の技術が用いられているのも大きな特徴なんだ。  
着物はもちろん、ペンケース、財布等の小物製品も作られているよ。



豊島屋酒造(株)「金婚」

えどもくはんが  
**江戸木版画**

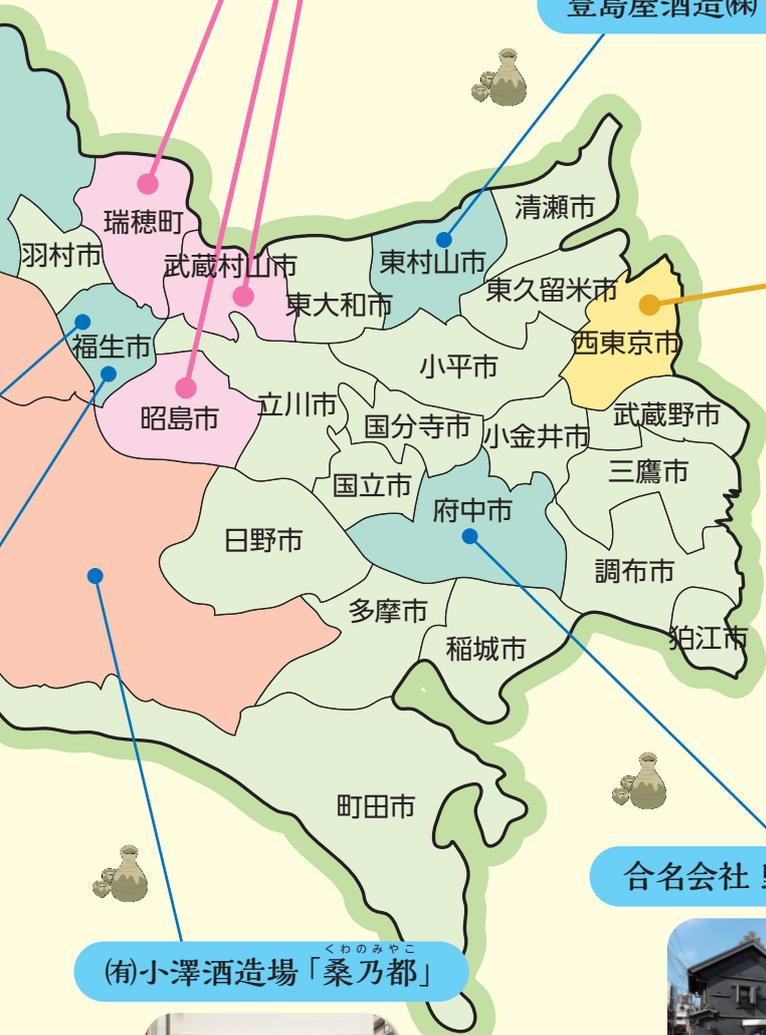
浮世絵版画に代表される江戸木版画の技術・技法は現在に継承されているんだよ。  
<sup>ほりし すりし</sup>彫師・摺師と呼ばれる職人さんが、昔と変わらぬ手法で歌川広重や葛飾北斎の浮世絵復刻版版画などを制作しているんだって。



合名会社 野口酒造店「國府鶴」



(有)小澤酒造場「桑乃都」





## 多摩交流センターだより

第30回

TAMA

とことん

討論会

ハイブリッド方式で開催!!

参加者募集

第30回となるTAMAとことん討論会、今回のテーマは「ごみ問題は自分ごと」です。私たちはそれぞれに異なるライフスタイルを持ちますが、ごみを出さずに暮らしている人はいません。そこで、あらためてごみ問題をすべての人が自分自身の問題（自分ごと）であると捉えるためにはどのようなきっかけがあればよいのかを考えてみたいと思います。

また、ごみ問題は自分ごとであると同時にとても重要な社会問題です。もっともっと住みやすい多摩地域にしていくためにも、いろいろな立場の人との情報交換が大切です。ぜひご参加ください。

- **テーマ** ごみ問題は自分ごと～多摩地域の取組みから考える～
- **日時** 2023年3月4日(土) 12:30～17:00
- **会場** アウラホール(京王線聖蹟桜ヶ丘駅 京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター A館 6F)
- **参加費** 無料
- **主催** 第30回TAMAとことん討論会実行委員会  
(特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦、公益財団法人東京市町村自治調査会)
- **後援** 東京都、東京都市長会、東京都町村会、多摩市、多摩ニュータウン環境組合、公益社団法人東京都リサイクル事業協会、一般社団法人廃棄物資源循環学会

● **プログラム**  
(敬称省略)

## 調査報告

鈴木 隆志 (東京・多摩リサイクル市民連邦)

## 話題提供

1 自治体の政策づくりと市民参加～多摩地域での試みから～

長野 基 (東京都立大学都市環境学部都市政策科学科 准教授)

2 市民として～きっかけは大学のサークル～

高野 研一 (東京・多摩リサイクル市民連邦)

3 市民団体として～使った食器の行く末を考える～

柏原 君枝 (小金井市消費者団体連絡協議会)

4 再資源化事業団体として～リサイクルに関心を持ってもらうための取組み～

紺野 琢生 (東多摩再資源化事業協同組合)

5 作文・川柳募集企画の背景および優秀作品発表

江尻 京子 (東京・多摩リサイクル市民連邦)

## ディスカッション

コーディネーター 山本 耕平 (㈱ダイナックス都市環境研究所会長)

● **参加方法** 事前申込

- **申込み締切** 2月25日(土) 必着
- **定員** 100名(会場50人、オンライン50人の予定)
- **開催方法や参加方法が変更になる場合は** 2月20日(月)までに、ホームページでお知らせします。

## 【オンライン参加】申込方法 メール

● **申込先** tama.recycle@gmail.com

〈件名〉オンライン参加希望

〈本文〉氏名・住所・電話番号・所属・メールアドレス

※メールアドレスは当日受信を希望するアドレスをお知らせください。

送信したメールと同様の場合は不要。

※会議システムはJitsi Meetを使用予定。詳細は3日前までに申込者にあてに送信。

## 【会場参加】申込方法 メール・FAX・ハガキ

● **申込先** 下記参照

〈件名〉会場参加希望

〈本文〉氏名・住所・電話番号・所属

※参加票を郵送します。参加票がない方は入場できません。

また、社会状況等により、会場参加できない場合は申込者に連絡します。

● **作文・ごみ川柳 募集** (共催 エコにごセンター)● **作文のテーマ** 『わたしがごみを減らす理由(わけ)』(1人1作品)● **ごみ川柳** 『ふと思った“ごみ”のこと』(1人3作品まで)

五七五にとらわれず短文で!

対象: 多摩地域在住・在勤・在学の方

締切: 2023年2月15日(水) 必着

応募規定: 作文は本文400字～800字程度

作品の始めに、名前、住所等の記載が必要です。▲チラシ

※詳細はホームページまたはチラシをご覧ください。

応募方法(郵送) 〒206-0035 多摩市唐木田2-1-1

エコにごセンター 作文・川柳係

● **問合せ・申込先**第30回TAMAとことん討論会実行委員会事務局  
特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦事務局内

〒206-0011 多摩市関戸1-11-7 グリービル 602号

電話 070-3340-7006 FAX 042-400-0096

ホームページ <http://www.renpou.org>Email [tama.recycle@gmail.com](mailto:tama.recycle@gmail.com)

問合せはできるだけメールでお願いします。

★討論会参加者募集リーフレット、作文・川柳募集チラシをご希望の方は実行委員会あてにFAXまたはメールでお名前と住所をお知らせください。

## TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

連続講座

## アジアの中の日本

## 第1回 ～イスラーム世界とインドネシア～

講師 宮本 謙介 氏

みやもと けんすけ

北海道大学名誉教授。社会学博士。専門はアジア社会経済史、現代アジア社会経済論。2020年からTAMA市民塾の運営に参加。著書に『アジア開発最前線の労働市場』など多数。

内容 アジアは激動の時代を迎えています。現代アジアについて、単なる時事解説ではなく、背後にある歴史的・アジア的な固有の諸問題を掘り下げます。毎回特定のテーマと国・地域に焦点を当てながら、現代アジアと日本の関わりについて、皆さんと共に考えます。

日時 2023年3月19日(日) 14:00～16:00 (開場13:30)

会場 多摩交流センター 第2会議室  
府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F  
(京王線 府中駅北口 徒歩3分) ※駐車場はありません。

申込 不要(当日会場にお越し下さい)

定員 先着24名

受講料 無料

※今後の予定(第2回6月・シンガポール)、(第3回9月・インド)、(第4回12月・台湾)  
毎回、当日先着順で受け付けます

問合せ 多摩交流センター内 TAMA市民塾 TEL 042-335-0111 (平日9:00～16:00)

新型コロナウイルス感染防止のため、会場ではマスクの着用、こまめな手指のアルコール消毒をお願いします。  
また新型コロナウイルス感染状況により中止する場合があります。

## 会議室利用登録団体へのお知らせ

## ◆ 会議室利用団体登録の更新について

多摩交流センター会議室利用登録団体の登録期限は、登録または更新してから3年度目の3月31日までです。該当団体には、1月に更新書類を送付しました。登録更新を希望する団体は定められた期日までに手続きをしてください。

## ◆ ロッカー・棚の利用について

ロッカー・棚については現在利用している団体は2023年度も、そのままの場所で利用を継続していただくこととします。

【利用継続期間 2023年4月1日～2024年3月31日】

※現在ロッカー・棚を利用中の団体で“2023年度は利用しない団体”や“新たに利用を希望する団体”は多摩交流センターまでご連絡ください。

(その他、更新の有無に関わらず代表者・住所・連絡先等に変更があった場合は速やかに変更届を提出) してください。

## 「多摩交流センターだより」の問合せ先

## (公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

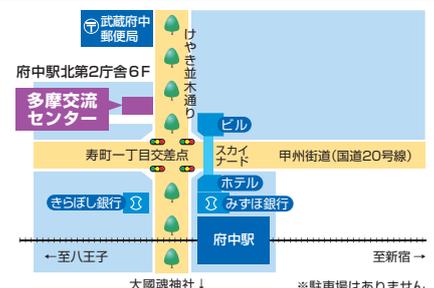
〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp>

(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。





多摩・島しょ

history of tama & tōsho

# とっておき歴史発見

第23回 国立市



身近な場所で歴史を発見！今回はわたげのボクが『本田家鞍』と『緑川東遺跡大形石棒』を紹介するよ。

## 本くら田家鞍はいりょうあおいもん(拝領葵紋付馬具)

(東京都指定文化財・旧本田家住宅(建造物)より)



旧本田家住宅は、江戸時代より約300年間の歴史を誇る建物で、東京都指定文化財の主屋は、貴重な資料が約7万5千点残っているよ。

写真の馬具は、本田家4代当主定之が、徳川家3代将軍家光・4代将軍家綱に仕えた際、幕府の厩舎きゆうしやに勤めた功労で幕府から拝領したと伝わる根来塗りの鞍だよ。徳川家家紋の葵紋があり、鞍骨くらぼねには「延宝9年」(1681年)の焼き印があるよ。

## 緑川東遺跡大形石棒

(国重要文化財)



緑川東遺跡から出土した石棒は、2017年に国立市所有として初の国の重要文化財に指定されたよ。ほぼ完形の大形石棒が遺構内から4本まとめて出土したのは国内初で、縄文時代の石棒祭祀の具体的なあり方を考える上で、その学術性には極めて高い価値があると評価されているよ。

石棒は、くにたち郷土文化館で展示しているよ。



### 【現地案内】

#### ◆ くにたち郷土文化館

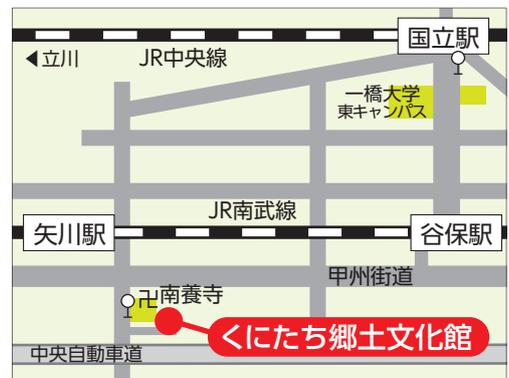
- ・開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)
- ・休館日 毎月第2・4木曜日(祝日の場合はその翌日) 年末年始(12月29日～1月3日)
- ・入館料 無料

#### 〈アクセス〉

- ・JR矢川駅から徒歩10分
- ・JR国立駅南口から立川バス「国立操車場」「国立泉団地」行き、「くにたち郷土文化館」下車、徒歩約3分

※旧本田家住宅は現在、解体復元工事のため非公開です。開館まで今しばらくお待ちください。(主屋は文化財建造物として2025年度中に開館予定です)

【情報・写真提供】 国立市教育委員会教育部生涯学習課 TEL 042-576-2111(代表)



本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。 問合せフォーム▼

【発行日】2023年2月1日 【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会 【責任者】小暮 実  
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068  
ホームページ <https://www.tama-100.or.jp> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています